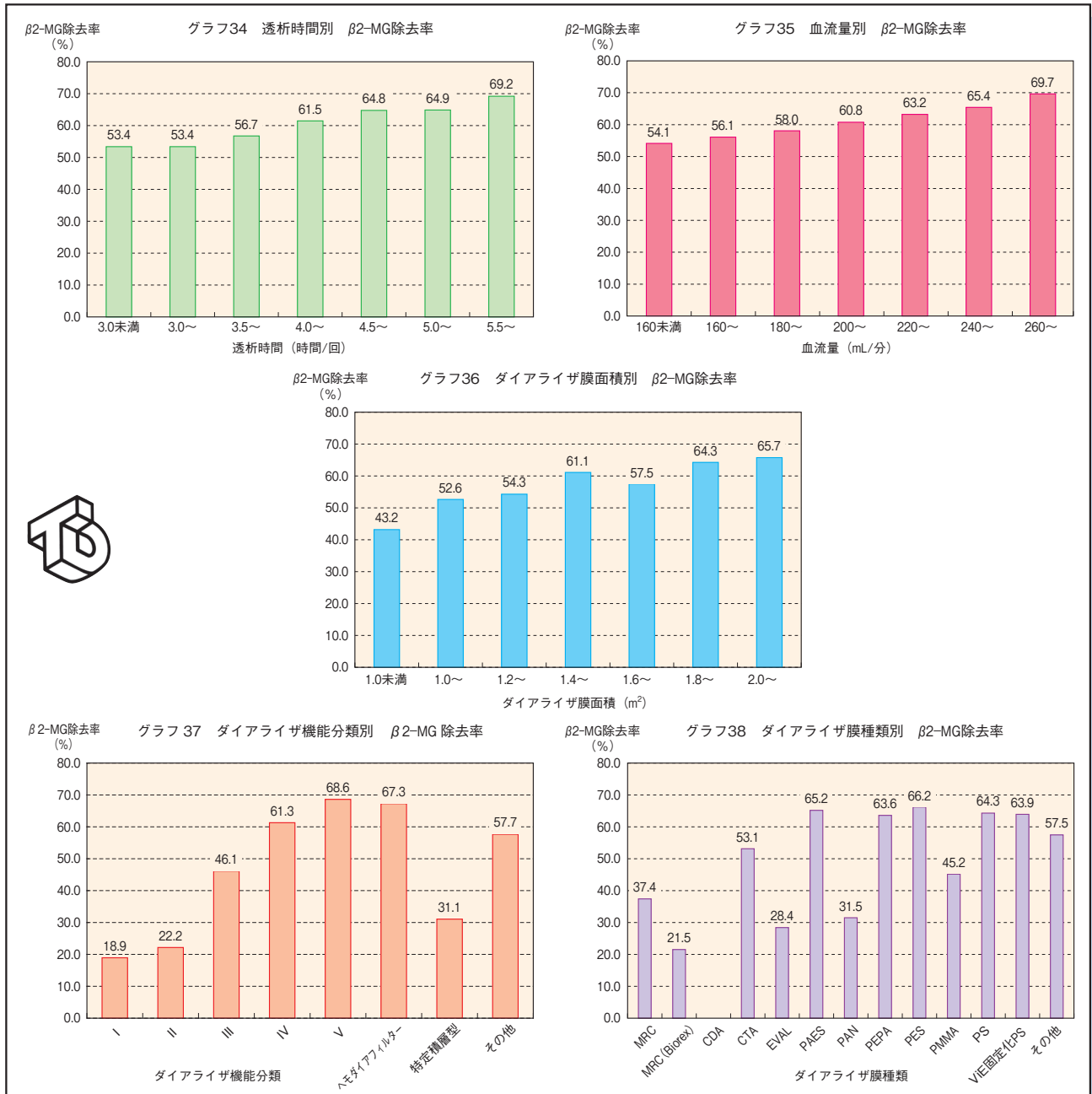


4) 血液透析条件と各種データ

(4) 透析条件とβ2マイクログロブリン (β2-MG) 除去率 (図表40)



患者調査による集計

グラフ34 集計対象：28,316人
 グラフ35 集計対象：28,218人
 グラフ36 集計対象：28,277人
 グラフ37 集計対象：28,186人
 グラフ38 集計対象：28,186人

解説

透析時間が長いほど、β2-MGの除去率は高い傾向がみられた。
 血流量が多いほど、β2-MGの除去率は高い傾向がみられた。
 ダイアライザ膜面積が大きいほど、β2-MGの除去率が高い傾向がみられた。
 ダイアライザ機能分類別では、IV型・V型・ヘモダイアフィルターで、β2-MG除去率が高い傾向がみられた。
 ダイアライザ膜種類別では、PAES膜、PEPA膜、PES膜、PS膜などでβ2-MG除去率が高い傾向がみられた。
 β2-MGの除去効率を高めるためには、低分子タンパク除去能に優れたダイアライザを選択するだけでなく、透析時間や血流量などの基本的な条件も高くする必要性が示唆される。